

～愛媛発・地域で暮らし続けるためにできること～

# 地域密着・小規模・多機能ホーム 推進セミナー



日時 2005年11月20日(日) 10:20～16:00

場所 松山市総合コミュニティセンター  
(研修会議室棟 3階大会議室)

主催 伊予つむぐの会

共催 全国コミュニティライフサポートセンター

近年、高齢者福祉を取り巻く状況は大きく変わってきました。従来の大規模施設での集団処遇への反省から、住み慣れた地域で暮らし続けることを支援する宅老所や小規模多機能ホームが誕生し、その取り組みはグループホーム（認知症対応型共同生活介護）や、大規模施設でのユニットケアの取り組みなどに大きな影響を与えてきました。

愛媛県においても、地域に根ざした新しい地域福祉の実践が芽吹いています。そうした実践者同士が互いに学びあい、高めあうことを目的に、このたび伊予つむぐの会を結成いたしました。

当会最初の取り組みであるこのセミナーでは、地域密着・小規模・多機能をキーワードとして愛媛県内での実践を紹介するとともに、愛媛県で暮らし続けることを支援するために、実践者に今できること、これから向かうべき方向性をともに考えあいます。

## プログラム

時 間	内 容
10:20～10:30	開 会
10:30～11:20	対談「小規模多機能ホームとは何か」 <div> <div>のどか宅老所（岡山県）</div> <div>代表 矢 山 修 一</div> </div> <div> <div>聖カタリナ大学（愛媛県）</div> <div>助教授 秋 山 昌 江</div> </div>
11:20～11:30	休 憩
11:30～12:30	実践報告 <div> <div>特養ひろた（愛媛県）</div> <div>施設長 丹 紀 代</div> </div> <div> <div>愛媛県在宅介護研修センター</div> <div>介護室長 村 上 美恵子</div> </div> <div> <div>はなぞの（愛媛県）</div> <div>理事長 久 保 元 道</div> </div>
12:30～13:30	昼 食
13:30～14:10	行政説明「介護保険制度改正の概要」 <div> <div>厚生労働省大臣官房</div> <div>参事官 石 黒 秀 喜</div> </div>
14:10～14:20	休 憩
14:20～16:20	まとめのセッション「地域での暮らしを支えるために」 パネラー <div> <div>きのこ老人保健施設（岡山県）</div> <div>副施設長 武 田 和 典</div> </div> <div> <div>託老所あんき（愛媛県）</div> <div>代表 中 矢 暁 美</div> </div> <div> <div>松山市保健福祉部</div> <div>社会福祉担当部長兼松山市福祉事務所長 武 智 喜代徳</div> </div> <div> <div>愛媛県生きがい推進局</div> <div>局長 長谷川 寿</div> </div> <div> <div>厚生労働省大臣官房</div> <div>参事官 石 黒 秀 喜</div> </div> コーディネーター <div> <div>全国社会福祉協議会地域福祉部</div> <div>部長 渋谷 篤 男</div> </div>
16:20～16:30	閉 会

## それぞれの取り組み

### のどか宅老所(岡山県)

認知症のお年寄りのデイサービスとグループホーム、訪問介護、基準該当のショートステイを実施しています。その名のとおりとても“のどか”なお家です。

その人、その人が興味をもち、無理なくできることを見つけ一緒に取り組みながら1日を過ごします。肩の力を抜き、リラックスした状態で、はりあいのある毎日を送ることができるよう、家庭生活の延長線上の介護を目指しています。

### 特養ひろた(愛媛県)

過疎地にある定員 34 人の小規模特養。「食＝命」と捉えたケアからユニットケアに取り組む。各地域の集会所等での逆デイサービスや施設を開放した子育て支援事業等を実施。利用者・地域にとって、それぞれが求める暮らしを支援できる施設創りを目指しています。

### 愛媛県在宅介護研修センター

「安心して暮らし続けられる地域づくりを目指す」ことを第一の目標として2003年7月に発足したNPO法人「愛と心えひめ」です。介護保険事業として宅老所を開設する一方で、愛媛県から、在宅介護研修センターを受託しています。

元保養所だった建物を使い、家族とともに介護を考え、支援できる体制を整えていきたいと考えています。

### はなその(愛媛県)

NPO 法人花園では、地域に根ざした小規模・多機能施設としてデイサービス・託老・託児の三事業を同時進行。昔ながらの生活の場である民家を利用して、自然の中で健やかにこれまでのライフスタイルを尊重しながら、ベストの状態により近づけるよう支援を行っています。

### きのこ老人保健施設(岡山県)

1996年に開設、2000年4月からユニットケアに本格的に取り組みはじめました。同年12月にはユニット型への改修を行い、10人を1つの生活単位としたユニットケアを実践しています。2002年には逆デイサービスを開始。ユニットケアの利用者本位の取り組みから、いかに職員と組織の成長が可能か、また、サテライトケアで住民主体の取り組みから、いかに職員と組織の成長が本物となるのかを期待しています。

### 託老所あんき(愛媛県)

1997年3月に無認可で「一人ひとりに合わせたケア」を求めて、築110年の民家を借りてスタートしました。現在、介護保険事業として通所介護・訪問介護・居宅介護支援・グループホームを実施し、自主事業で式号館(泊まり、住む)を実施しています。2000年10月より、地域通貨モデル事業をスタートし、地域に根ざしたグループホームを目指して、『縁側プロジェクト』を実施中です。

定 員：300 人

参加費：5,000 円

会 場：松山市総合コミュニティセンター 研修会議室棟 3 階大会議室  
(〒790-0012 愛媛県松山市湊町七丁目 5 番地 TEL 089-921-8222)

### 申し込み手順

下記参加申込書に必要事項をご記入のうえ、**10月31日(月)必着**で全国コミュニティライフサポートセンター(CLC)まで、FAX・E-Mail・郵送のいずれかの方法でお申し込みください。

参加申込書を受付しましたら、CLCから入金方法等を記載した確認票をお送りいたします。入金確認後、参加票をお送りいたします。

- 1 ご入金後、キャンセルによるご返金はできませんのでご注意ください。
- 2 会場は飲食物持ち込み可ですが、ごみは全てお持ち帰りください。お弁当(700 円)の注文も承っております。当日の対応はいたしかねますので、ご希望の場合は事前にご注文ください。

FAX：022-719-9251

### 地域密着・小規模・多機能ホーム推進セミナー 参加申込書

住 所	〒		
施設名 (所属)			
TEL		FAX	
申 込 者 氏 名			
	ふりがな	役 職	弁 当 (700 円)
	氏 名		
例	えひめ たろう	施設長	
	愛 媛 太 郎		
1			
2			

#### お問い合わせ先

全国コミュニティライフサポートセンター (CLC) 東日本内

住 所：〒981-0954 宮城県仙台市青葉区川平 5 - 3 - 18 - 207

T E L：022-719-9240 F A X：022-719-9251

U R L：<http://www.clc-japan.com/> E-mail：